

赤字が記載例となります。共同研究・セミナーと共通の様式です。

(様式 10-3) 委託期間延長申請記載例

二国間交流事業共同研究／セミナー 令和4年度（2022年度）実施計画変更申請書

クリッ

(提出年月日) を選択

ださい。

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

業務委託契約の契約者名
で作成してください。
公印は不要です。

[受託機関名]

〇〇大学

[受託機関の長又は契約担当者職・氏名]

学長・学 振 太 郎

本年度貴機関と締結した業務委託契約に関し、別紙（計●件）のとおり実施計画を変更したく、承認くださるようお願いいたします。

課題毎に別紙を作成
してください。

様式 10-3 別紙記載例

課題番号	JPJSBP○○○○○○○○○○
代表者所属部局・職名・氏名	□■□研究科・教授・振興 花子

共同研究
の場合

1. 変更事項

令和4年度委託期間（実施期間）の変更

令和4年4月1日～令和5年3月31日を、

令和4年4月1日～令和6年3月31日に変更する。

②新型コロナウイルス感染拡大に伴う水際対策の変化について、渡航先の情報を必ず記載してください。

2. 変更の理由等（変更となった要因、必要性等を記載してください。）

③相手国対応機関の対応を必ず記載してください。

①○○（用務内容を記入）を実施するため、令和4年5月に中国・上海市の△△への渡航を計画していた。

②新型コロナウイルス感染拡大を受けて、上海市が令和4(2022)年3月28日から6月1日まで厳しいロックダウンを実施したため、その間、査証発給が停止され日本からの渡航が認められなかった。

③相手国対応機関（XXX）は、相手国側研究代表者（▲▲ ▲▲）の今年度の実施計画を令和6(2024)年3月31日まで延長することを認めている。

④実施計画遂行上、□□は不可欠であり、オンラインでの交流では代替できない。

⑤相手国研究代表者と調整の結果、□□の実施を令和5(2023)年7月に延期することを計画しており、○○を令和5(2023)年5月に実施する必要があることから、委託期間の延長を申請する。

④オンラインの活用等では代替できない理由を必ず記載してください。

⑤来年度に実施する内容及び実施時期と、今年度中に終了できない理由を必ず記載してください。

セミナー
の場合

1. 変更事項

令和4年度委託期間及びセミナー開催期間の変更

委託期間について、令和4年4月1日～令和5年3月31日を、

令和4年4月1日～令和6年3月31日に変更するとともに、

セミナー開催期間について、令和4年5月1日～令和4年5月6日を、

令和5年5月1日～令和5年5月3日に変更する。

②海外で開催される場合は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う水際対策の変化について、渡航先の情報を必ず記載してください。

2. 変更の理由等（変更となった要因、必要性等を記載してください。）

③相手国対応機関の対応を必ず記載してください。

①令和4年5月1日～令和4年5月6日の6日間の予定で、中国・上海市の△△においてセミナーを開催する予定であった。

②新型コロナウイルス感染拡大を受けて、上海市が2022年3月28日から6月1日まで、厳しいロックダウンを実施したため、その間イベントの開催が困難な状態であった。

③相手国対応機関（XXX）は、相手国側代表者（▲▲ ▲▲）の今年度の実施計画を令和6(2024)年3月31日まで延長することを認めている。

④本セミナーは、□□のため、オンラインでの開催では代替できず、対面式での開催が不可欠である。

⑤相手国側代表者と調整の結果、○○のため、令和5(2023)年5月1日～令和5(2023)年5月3日に会期を短縮し延期を申請する。

④オンラインの活用等では代替できない理由を必ず記載してください。

⑤セミナーの開催日数を変更する場合は、その理由も記載してください。

3. 翌年度支出見込額等

経費内訳	受入額	本年度支出見込額	翌年度支出見込額
外国旅費	1,235,000	0	996,000
国内旅費	256,500	185,500	70,000
物品費	617,500	882,000	0
謝金	95,000	95,000	0
その他	171,000	37,500	109,000
合 計	2,375,000	1,200,000	1,175,000

※「受入額」欄は、請求書に記載の査定後の金額を記載してください。